

2016 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)
北区民つながるプログラムを策定しました！	1
1000K I T Aプロジェクトが始動しました！	1
【上 京 区】	(担当：松井 朋子)
「上京安心安全絆工房」で運動プログラムのアイデアだし	2
「カミング」で地域の魅力発信とつながり	2
【左 京 区】	(担当：大塚 敏之)
地域活性化プロジェクト「左京×学生縁ねっと」	3
235組の親子が参加！中京ベビサポフェスタ	3
【中 京 区】	(担当：深川 光耀)
中京マチビトC a f é “まなびと共鳴編” の開催	4
地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる	4
【東 山 区】	(担当：加藤 ゆうこ)
まちづくりカフェ@東山（まちカフェ）の方向性の再検討	5
大学等との連携プロジェクトに対するサポート	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)
やましなGOGOカフェ特別版「山科子ども・若者未来トーク」	6
山科こころの健康を考える会のネットワーク活動	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)
地域役員と下京区幹部職員との懇談会・ワークショップの企画	7
菊浜学区のまちづくり	7
【南 区】	(担当：山本 一貴)
「世界一安心安全・おもてなし」南区版運動プログラム	8
みなみ力で頑張る！区民応援事業	8

【右 京 区】	(担当：朝倉 眞一)
右陰ファンクラブ、右陰地域のPRサポート.....	9
京北黒田の空き家マッチング事業のサポート.....	9
【西 京 区】	(担当：田尾 純子)
地域で育児！！西京☆パパ塾.....	10
地域の絆で安心安全なまち西京.....	10
【西京区洛西支所】	(担当：吉田 泰基)
「らくさい子育て情報マップ」の作成.....	11
「大原野」地域ブランド化の取組.....	11
【伏 見 区】	(担当：亀村 佳都)
伏見をさかなにざっくばらん.....	12
桃山プロジェクト（伏見区区民活動支援事業の支援）.....	12
【伏見区深草支所】	(担当：白水 育世)
「鴨川運河会議」（第二期）の運営.....	13
「深草まるごとつながりネットワーク」事業の運営.....	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)
おとなだいで塾.....	14
「私の第一歩」事業.....	14

【北区】

北区民つながるプログラムを策定しました！

【事業概要】 北区制 60 周年記念事業の一環として、北区の今後 5 年間（平成 28 年度—32 年度）のまちづくりを定めた、「北区民つながるプログラム」を、区民の皆さんと策定しました。

北区民まちづくり会議を中心に、様々な機会で見解を重ね、“つながる・つなげる”（Link 北区）をキーワードに 18 のプロジェクトを設定。未来の北区を切り拓くため、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりを進めていきます！



1000KITA プロジェクトが始動しました！

【事業概要】 千本北大路にある楽只市営住宅の空き店舗を活用し、地域に賑わいをつくるプロジェクト「1000KITA」が、平成 27 年度に本格始動しました。

“出会う”“学ぶ”“伝える”ことを大事にした空き店舗の再生を通じて、情報の発信や交流イベントの実施など、多様な接点をつくりだし地域内外の交流を育むことで、地域に賑わいを生みだしていきます。

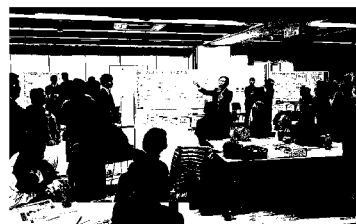


北区担当アドバイザー 西原秀倫

【上京区】

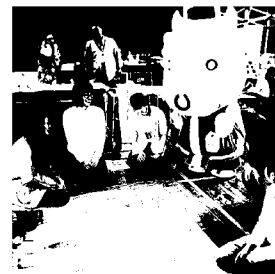
「上京安心安全絆工房」で運動プログラムのアイデア出し

【事業概要】「世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動」を上京区の実情に照らし、防犯対策、防災・環境整備、交通安全の三部会を推進協議会内に設置しました。地域・各種団体、区役所、警察署、消防署、上京区内の大学等で連携し、様々な視点から「絆で織りなす安心安全のまち上京」とやさしさあふれるおもてなしのまちの実現にむけて「上京区版運動プログラム」のアイデアを出し合いました。



「カミング」で地域の魅力発信とつながりづくり

【事業概要】上京区民まちづくり活動支援事業採択団体の活動、各学区の様子、歴史文化的事業、上京区役所主催事業などあらゆる情報をできる限りHPやfacebookを利用して発信し、上京区内の中学生、大学生、留学生と一緒にインタビューを行うことであらゆる年代の視点がいかにされた記事の作成、それをご覧になった方との次のつながりのきっかけづくりを行っています。



上京区担当アドバイザー 松井 朋子

【左京区】

地域活性化プロジェクト「左京×学生縁ねっと」

【事業概要】左京区では、学生のあふれるパワーを地域のまちづくり活動につなげるため、NPO 法人と社会福祉協議会と協働で、ボランティアしたい学生と、ボランティアに来て欲しい地域とを結びつける事業を運営しています。

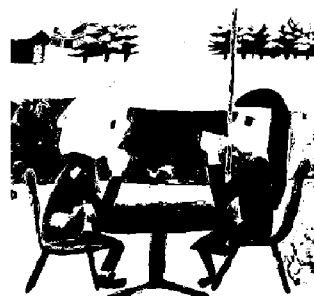
大学内での説明会、フェイスブックやメールマガジン等を活用した広報を通じて、多くの学生が地域のイベントや鞍馬火祭等の祭礼、山間地域の雪かきなど、さまざまな場所で活躍してくれています。



みんなでつくる「左京朝カフェ」

【事業概要】左京区では、区民主体のまちづくり活動を支援する取り組みとして、「左京朝カフェ」を開催しています。

左京のまちづくりに関心のある区民が気軽に集い、ワークショップ形式のざっくばらんな対話を通じて、新しい仲間やまちづくり活動のアイディアと出会います。27 年度も、区民スタッフと協力して企画運営を行い、参加者同士が“つながる”ことから生まれる多彩な活動とその盛り上がりにも貢献しました。



【中京区】

中京マチビト Café “学びと共鳴編” ～マチビト×空き家活用～の開催

【事業概要】区内でまちづくりに取り組む人＝“マチビト”の情報交換，交流を目的とした「中京マチビト Café」。その「学びと共鳴編」は「学びを通じた、気づきと響き合いの場づくり」を目標に開催しています。

「マチビト×空き家活用」をテーマとした第4回では，空き家の活用等に取り組む（株）めいの扇沢友樹さん，梅屋学区まちづくりチームの関昌一さん，itonowa の村田敬太郎さんらを招いて学びを深めると

ともに，対話を通して区民の空き家活用に関する次のアクションの芽を育てました。



235 組の親子が参加！ 中京ベビサポフェスタ

【事業概要】中京区では，2013 年度より子育て応援を目的として中京ベビーズサポートマーケットプロジェクト（以下；ベビサポ）を実施しています。その中の1つが2016年2月に開催された乳幼児と親を対象としたイベント，中京ベビサポフェスタです。

寒い冬の時期にも，親子で外出する機会を提供しようという想いで実施。毎週木曜日に区役所で開く「ベビサポ広場」の拡大版として初めて企画しました。当日は，ベビーダンスや健康チェックなど多様で親子をお迎え。235組の親子が参加してくださり，盛況でした。



【東山区】

まちづくりカフェ@東山(まちカフェ)の方向性の再検討

【事業概要】 まちづくりカフェ@東山は 4 年目を迎え、継続的な活動グループが出てくる一方で、新しい人が気軽に参加しにくい、活動しにくい、という課題も出ていました。これまでの 4 年間をふまえながら、きっかけや交流を促す場をどう作っていいのか、参加者と事務局が一緒に考える場を提供し、多くの人が参加できる交流会を目指してさまざまなチャレンジを試みました。



大学等との連携プロジェクトに対するサポート

【事業概要】 地域の課題の解決に向けて、大学からの柔軟で新しい発想を取り入れつつ協力しながら活動しています。大学連携プロジェクトの各担当者と話し合いながら、「東山区民ふれあいひろば」でのインターン学生向け研修、「職人のまち東山活性化プロジェクト」、「京都・東山観光おもてなし隊」、「東山こどものまち」でのワークショップでのサポートを通じて、大学との関係づくりについて提言しました。



東山区担当アドバイザー 加藤 ゆうこ

【山科区】

やましな GOGO カフェ特別版「山科子ども・若者未来トーク」

【事業概要】 山科では、京都市内でもいち早く子どもの貧困の問題に取り組む団体が現れ、子どもの学習面・生活面のサポートを行ってきました。また、「山科“きずな”支援事業」で子どもの学習支援の事業が複数採択される等、取り組む主体が増えてきています。一方、活動団体からは、効果的な支援のためにはケースワーカーや教員等、公的機関の職員との情報共有が必要だとの声があり、公的機関を含めた活動団体間のネットワーク形成の場としてこの事業を実施しました。



山科こころの健康を考える会のネットワーク活動

【事業概要】 精神障害を持つ人が地域で暮らせるように、サポーターの育成、障害についての知識の普及啓発等を目的に、当事者、家族、地域団体、保健・医療・福祉機関、就労支援事業所、大学等の関係機関でネットワークを構成しています。事業の柱は夏まつり（啓発、当事者や就労支援事業所の親睦や交流）、こころの健康サポーター講座（地域の支援者の養成）、シンポジウム（啓発、学び）です。特に夏まつりは16回目を数え、当事者間の親睦にとどまらず地域住民の方にも御参加いただき交流できる点や、お化け屋敷の運営を学生と当事者が担っている点が特徴です。



山科区担当アドバイザー 佐藤 友一

【下京区】

地域役員と下京区幹部職員との懇談会・ワークショップの企画

【事業概要】昨年度に引き続き、地域役員と下京区役所の職員が地域の課題や将来のまちづくりについて話し合う懇談会のワークショップの企画と進行を担当。テーマは「子育て世代といっしょにやっぺいこう」で、地域役員のみなさんと接点があるようになかなか直接意見を聞くことがない子育て世代の考え方を知るために、町内会の加入や地域コミュニティに対するアンケート調査を区内の小学校の保護者対象に行いました。その結果を織り込んだ「寸劇」を職員が上演し、視覚的にわかりやすく地域役員の方々に問題点を伝えました。



意見交換をワークショップ方式で進めた結果、各地域で進めている加入促進や、共働き世代が参加しやすくする環境づくりの向上などについて話が進みました。

菊浜学区のまちづくり

【事業概要】平成27年度1月に菊浜学区のまちづくりについて地域で考えていくために菊浜連合会のメンバーを中心に菊浜まちづくり推進委員会を立ち上げました。今年度は、菊浜の現状の課題や地域活性化に向けた方策を検討していくことになり、これらの取組に対して側面支援を行いました。

活動初年は、委員会全体で取り組むものとして地域を紹介する『菊浜トコどこマップ』の作成とそれに伴うまち歩きを実施しました。将来のまちづくりについて学区民全体で話し合う「菊浜まちづくりワークショップ」を行いました。



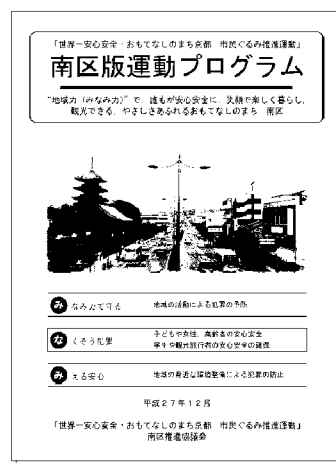
【南区】

「世界一安心安全・おもてなし」南区版運動プログラム

【事業概要】

京都市では、市民生活の一層の安心安全の実現と観光旅行者等の安心安全のため、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」を、京都府警と連携してオール京都で取り組むこととし、各区で推進体制と運動プログラムの整備を進めています。

南区では平成27年度から、区民、事業者、行政、警察が連携して準備を進め、推進協議会を設置するとともに、運動の方向性や目標、具体的な取組を示した区版プログラムを策定しました。



みなみ力で頑張る！区民応援事業

【事業概要】

南区基本計画（第2期）を推進するため、地域の各種団体、NPO、ボランティアグループ、事業者等の区民のみなさんの持つアイデアと実行力を活かした主体的な活動を区役所が公募し、資金面から応援する事業で4年目を迎えます。

南区制60周年の平成27年度は、14（うち新規9）の活動が応援事業として採択され、区内の各地で活動が展開されています。



南区担当アドバイザー 山本 一貴

【右京区】

宕陰ファンクラブ、宕陰地域のPRをサポート

【事業概要】

地域の活性化に取り組んでいる宕陰学区ですが、本年度はまちなかでのPRとして、右京区のショッピング施設の京都ファミリーと連携し「かぼちゃランタンづくり体験WS」を開催しました。

宕陰ハロウィンまつりで制作したランタンの展示とともに、親子連れを対象に思い思いのかぼちゃランタンを作っていただきました。あわせて宕陰ファンクラブの入会案内、地域をPRするパネルを作成・展示するなど、まずは宕陰地域を訪れてもらえるよう、PRを行いました。



京北黒田の空き家マッチング事業のサポート

【事業概要】

右京区まちづくり活動支援制度でサポートしている活動の一つに、地域住民が運営する事業所が中心となり、空き家と移住希望者のマッチングに取り組む京北黒田地域の活動があります。

空き家の調査から所有者への意向調査を行い、HP上で空き家への入居希望者を募集するなどの取組を進めてこられました。田舎暮らしに関心を持つ方を対象に、京北黒田の暮らしを知ってもらおうと開催した体験イベントでは、地域の暮らしを熱心に聞く参加者もみられるなど、新規移住者の確保に向けて着実に進んでいます。



右京区担当アドバイザー 朝倉 眞一

【西京区】

地域で育児！！西京☆パパ塾

【事業概要】西京区では、「育児にもっと関わりたい、子育てを通じて地域とのつながりを作りたい」というパパを応援するため、パパと子どもと一緒に“学ぶ・遊ぶ”イベントなどを開催しました。イベントの中では、パパ同士が交流する時間も設け、仲間づくりの機会を提供しました。また、西京区在住パパの有志により結成された「西京☆パパ盛り上げ隊」がイベントを企画・実施しました。



地域の絆で安心安全なまち西京

【事業概要】西京区では、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」をオール西京で推進していくため、既存の生活安全推進協議会を母体に、新たな団体や関係機関等が参画し、計78団体のもと、協議会を設立しました。協議会の検討会議において、ワークショップ形式で意見交換を重ね、平成28年3月に西京区版プログラムを策定しました。



西京区担当アドバイザー 田尾 純子

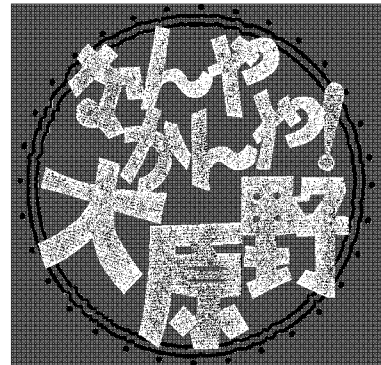
「らくさい子育て情報マップ」の作成

【事業概要】子育て中の親子に，洛西地域のとおきのお遊び場を知ってもらい，外出の後押しになるよう，「らくさい子育て情報マップ」を作成しました。情報の収集にあたっては，地域を担当する主任児童委員や民生児童委員等が中心となり，子育て中の親子の生の声を拾いながらマップに落としとしていきました。遊び場のほかに，医療機関情報や地域イベント情報なども掲載されています。



「大原野」地域ブランド化の取組

【事業概要】「大原野」地域ブランド化の取組がはじまって3年目，「なんやかんや「大原野」推進協議会」のもと，休耕田を活用したひまわりやフジバカマの取組，たけのこやごま，ヨモギのブランド化に向けた取組など，それぞれ活動は広がっています。今年度はさらに，大原野野菜や加工品のさらなるブランド化に向けて，「なんやかんや大原野」のロゴマークを商標登録しました。また，新たな取組としては，平成28年度の直売所開設に向けて，意見交換会を行っています。



【伏見区】

伏見をさかなにぎっくばらん

【事業概要】

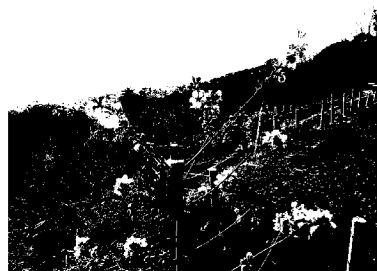
伏見区では平成 24 年 6 月より毎月 1 回「伏見をさかなにぎっくばらん」を開き、伏見に縁のある人が出会い、伏見のまちへの思いを語り、まちづくり活動を行うきっかけとなる場づくりをしています。10 以上のチームによるまちづくりを進める中、伏見区民ふれあい事業「伏見ふれあいプラザ」でのブース出店を始めチームを越えて協力しあう機会もあります。色々な人との交流からまちづくりへのアイデアが生まれています。



桃山プロジェクト(伏見区区民活動支援事業の支援)

【事業概要】平成 24 年度より「伏見区区民活動支援事業」が始まり、区民主体のまちづくりに対して活動資金の一部を支援しています。

採択事業の 1 つである「桃山プロジェクト」は「伏見桃山を再び桃の花香あふれる桃源郷に！」を合言葉に活動し、区内に約 300 本の桃の苗を植樹しました。今年度は区内の公園管理を通じて自然に親しみながらまちの美化に取り組んでいます。



伏見区担当アドバイザー 亀村 佳都

【伏見区深草支所】

「鴨川運河会議」(第二期)の運営

【事業概要】深草支所で平成25年度から始まったまちづくり事業『鴨川運河会議』。平成27年度は、これまでに出されたアイデアをもとに、どんなアクションができるかを話し合い、参加者が個々に関心あるテーマに分かれチーム活動を開始しました。鴨川運河の土木遺産としての魅力や歴史を発信するチーム、散策しながら価値を伝えるチーム、整備し憩える場を作るチーム等、9チームが生まれました。11月22日(日)には、合同イベントも開催。疏水沿いで開かれたカフェには多くの地元客が訪れ、「鴨川運河」を知って頂くよい機会となりました。



「深草まるごとつながりネットワーク」事業の運営

【事業概要】深草のまち全体をとらえ、今後も「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指す出会いと学びの場—『深草まるごとつながりネットワーク』(通称、深まるねっと)を、平成27年9月より開始。第一回目は「深草のみどり」をテーマに、その分野で活躍中の方をゲストに呼び語り合うトークセッションや清掃活動等をしながら現場を歩くフィールドワークを経て、ワークショップを開催。「深草のまちがこんな風になったらいいな」という思いを込めて『2030 FUKAKUSA』と題したビジョンマップを作成しました。このマップをもとに平成28年度は、深草トレイル大岩山展望所コースにある『大岩神社』周辺の環境整備・再生に取組み、アクティブに活動する予定です。



伏見区深草支所担当アドバイザー 白水 育世

【伏見区醍醐支所】

おとなだigo塾

【事業概要】「おとなだigo塾」は、昨年度に引き続き、醍醐地域でまちづくり活動に取り組む人材を育成するため、専門家や、実際に活動に取り組んでおられる市民団体による講座を行い、企画づくりや仲間づくりを目指す事業です。

今年度は、昨年度の経験を活かし、受講生の交流を促す「だigo夜カフェ」の実施や、修了生のまちづくり活動の成果を周知するためのウェブサイトの開設といった新しい工夫を凝らしました。



「私の第一歩」事業

【事業概要】醍醐地域の公共施設「京都市醍醐いきいき市民活動センター」では、地域の市民活動を活性化させるための諸事業を行っています。そのひとつが、「私の第一歩」事業です。

「おとなだigo塾」修了生が、自らの望むまちづくり活動を実現していくためには、その初動期の援助が重要です。そこで、その初動期を醍醐いきいき市民活動センターの「私の第一歩」事業と位置づけて、市民が自主的に動けるよう人的、資金的な面から援助しています。すでに複数の「新たな第一歩」が醍醐のまちに芽生えています。

プレママ & 親子の
ほのぼのサロン
～きママっず～



「おとなだigo塾」修了生が、自らの望むまちづくり活動を実現していくためには、その初動期の援助が重要です。そこで、その初動期を醍醐いきいき市民活動センターの「私の第一歩」事業と位置づけて、市民が自主的に動けるよう人的、資金的な面から援助しています。すでに複数の「新たな第一歩」が醍醐のまちに芽生えています。

